



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっきい&おおむちゃん

家族で過ごす時間をみつめよう



みんなで子育て“水都っ子ウィーク”

「子育て日本一」が実感できるまちづくりを目指す大垣市。子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる環境づくりを推進しています。社会全体で身近なことから取り組みながら、家族で過ごす時間を大切にしましょう。

市は、毎年8月2日から8日までを「水都っ子ウィーク」と定めています。



上手に描けたね「かぞくのえ」

ちょうど夏休みのこの期間中は、特に親子がふれあう機会を増やそうと、多彩な催しが行われました。

7月28日には、南部学校給食センターで「親子調理体験」が開かれ、子どもと保護者81人が、千人釜を混ぜるなどして、給食が作られるまでの調理を体験しました。

8月2日などには、図書館で「昆虫切り紙教室」を開催。色とりどりの紙から切り出されるカブトムシやチョウチョなどの昆虫たちは本物そっくり。大人も子どもも夢中になって、思い思いの作品に仕上げていました。

8月2日からは、市内3か所のショッピングセンターで、幼稚園・保育園・幼稚園の5歳児の「かぞくのえ」作品展を開催。会場には、自分の絵を

大垣ミナモソソフトボールクラブ アメリカ代表チームと対戦

8月5日、大垣ミナモソソフトボールクラブは、国際女子ソフトボール大会出場のため来垣していたアメリカ代表チームと対戦しました。

会場の北公園野球場では、地元チームを応援しようと呼びかけた市民ら約800人が試合を観戦。世界トップレベルの選手たちとの熱い戦いに声援を送っていました。試合は9対0でアメリカが勝利。世界レベルのスピードやプレーを目の当たりにしました。



家族に見てもらい嬉しそうな子どもや、一緒に記念撮影をする親子の姿などがありました。

このほかにも、小学生の親子がものづくりを体験する講座や、親同士が語らう座談会、夏休みならではの水遊びなど、盛りだくさんの事業が行われました。

8月15日号 主な内容

- ▶戦没者等特別弔慰金、マイナンバー制度など …2～3P
- ▶定住促進の補助制度、子育てサポーター養成講座など …4～5P
- ▶市民IT活用研修、水都おおがき演劇アゴラ2015など …6～7P
- ▶かがやき成人学校、認知症予防の記念講演会など …8～9P
- ▶健康ガイド …10～11P
- ▶総合防災訓練、アンサンブル・ラロピアノ四重奏団など …12P

大垣祭の軸行事は、尾張津島天王祭と同様に、大変素晴らしい歴史あるお祭りで、今年国重要無形民俗文化財に指定されました。そして一緒に来年のユネスコ無形文化遺産登録を目指してまいります。



尾張津島天王祭

その翌日、大垣市では、すのまた天王祭が行われました。これは尾張津島神社の分社である墨俣津島神社のお祭り、川の恩恵に感謝し、川から受ける災害の無事息災を祈るもので、四〇〇年以上の歴史があります。特色は、「町内作りもの」と呼ばれる地元の野菜や果物などを使った手作りの飾り(ダンシ)で、毎年楽しい作品が展示され、今年日本昔ばなしを題材としたダンシに市長賞を贈りました。

暑さを覚悟して出かけたが、天王川の水面に吹く風のおかげで、意外と涼しく感じました。夜9時頃になり、提灯を半球状に載せて、20メートル近い高さになる5隻のまきわら船が静かにゆつくりと現れると、その勇壮な姿に大変感激しました。そして、こんな素晴らしい宵祭が、一年に一回しか見られないのはとても貴重なことだと感じました。

先日私は、国重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形文化遺産に登録提案されている尾張津島天王祭の宵祭に参加しました。このお祭りは、尾張津島神社で無病息災を願って始まったといわれています。

尾張津島天王祭に参加して



大垣市長 小川 敏

市長のながさきメール